

一派ニ在リテハ裏面的ニ罷業勸誘ニ努力スル處アリシ爲メ
遂ニ一月廿九日ニハ級坑ニ於テ六九名ノ罷業者ヲ見ルニ至
リシガ翌三十日ニハ約二百名ニ増加シ次テ高坂、内郷、小
野田ノ各坑ニ波及シ爭議松夫ノ氣運濃厚トナレリ、
(又) 日本鉦夫組合ノ手ニ移リテ以後ノ狀況(二月廿九日以降)
(4) 評議會一派ノ駆逐

日本鉦夫組合ニ於テハ評議會系人物ノ策動ニ對シテハ
内心不快ノ念ニ堪ヘザルモノアリト雖モ前記ノ如ク勞働
問題演說會等ヲ開催シテ爭議應援ニ努メツ、アリシカ

其ノ間評議會側ノ運動、動モスレバ突如セントスルノ情勢

ニ鑑ミ高梨、関谷等ノ幹部ハ企炭坑各支部幹部等ノ

善後策協議ノ結果此際評議會系分子ノ引入ヲ排斥シ

組合ノ祭辰ヲ圍ルベシト爲シ一月廿九日磐城支部事務所

ニ於テ山代及評議會系應援者ト會見シ其ノ反省ヲ求

ムル知アリシカ双方激論ノ末遂ニ評議會側應援者ヲ排

除シ企支部事務所以テ爭議團本部ト爲シ日本鉦夫組

合ニ於テ爭議統制ヲ爲スニ決シヨリ(爭議團本部ハ一月

三十一日高坂坑下ノ民家ニ移轉ス)